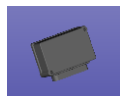


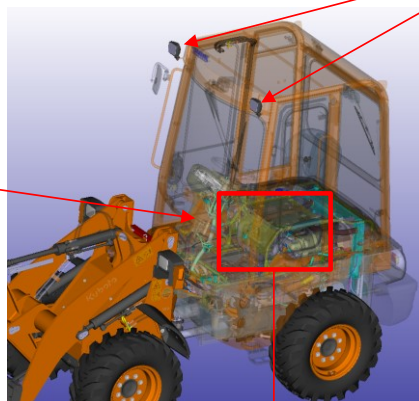
## 改善箇所説明図

作業灯2個ハロゲン仕様→LED仕様に変換※  
(キャビン仕様のみ)

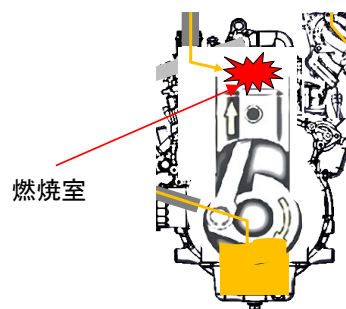
コントローラー※  
プログラムの書き換え



取扱説明書※  
制御追加の説明追記

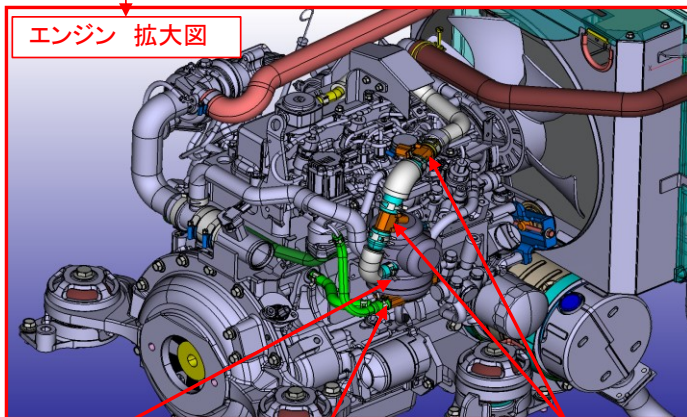


エンジン 断面図

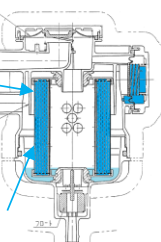


基準不適合発生箇所  
(部品名)エンジンオイルセパレータ

エンジン 拡大図



②セパレータ  
内部に水分  
量が増加



③エレメント、  
バイパスバルブ、  
チェックバルブが  
凍結する。

①徐々に油分  
や水分がエレ  
メントに蓄積し  
て水分が通過し  
にくくなる。

※は交換部品を示す

不具合内容:

ホイールローダを寒冷環境で使用した際に、エンジンオイルセパレータ内が凍結するため、そのまま使用を続けるとエンジンオイルが逆流し、燃焼室に入ることによってエンジンが過回転となり、車両を適切に停止できず、最悪の場合、エンジンが破損し走行不能となるおそれがある。

改善の内容:

全車両、エンジンオイルセパレータの凍結を防止するためエンジンオイルセパレータにウォータージャケット(エンジン冷却水の水温によりエンジンオイルセパレータの凍結を防止する)、管路にヒーター2個を追加、エンジン最高回転数以上になった場合の制御のためコントローラープログラムの書き換え、その制御の説明を取扱説明書に追記する。また、部品追加により発電能力不足となるためキャビン仕様機のみ作業灯をハロゲン仕様から消費電力の少ないLED仕様に変更する。

改善後の識別:

外観より識別可能